

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツ施設管理事業費（指定管理）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ施設係

電話番号：058-272-1111（内 2928）

E-mail: c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 684,181 千円 （前年度予算額：684,133 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	684,133	0	0	3,499	2,481	0	0	0	678,153
要求額	684,181	0	0	2,919	2,910	0	0	0	678,352
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

指定管理者による施設の管理運営により、コスト削減や利用者サービスの向上を図る。

（2）事業内容

各県有スポーツ施設の管理運営に関する以下の業務を指定管理者に行わせる。

<業務内容>

- ・施設の維持管理に関する業務
- ・施設の運営に関する業務
- ・施設利用者の便宜の供与に関する業務
- ・施設の利用促進に関する業務

（3）県負担・補助率の考え方

県有施設の管理運営に係る費用であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	360	施設賠償責任保険料
委託料	683,821	指定管理料
合計	684,181	

決定額の考え方

事業評価調査書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

指定管理者による施設の管理運営により、適切な維持管理や利用者サービスの向上を図り、施設の効用を発揮するとともに、より一層の施設の利用促進を進めていく。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目 標	達成率
岐阜メモリアルセンター各施設の平均稼働率	59.9% (H24)	49.4% (H29)	50.8% (H30)	47.9% (R1)	46.6% (R4)	102.8%
長良川スポーツプラザ宿泊施設の利用者数	28,434人 (H22)	25,349人 (H29)	26,384人 (H30)	23,772人 (R1)	27,300人 (R5)	87.1%
グリーンスタジアムの利用者数	40,785人 (H17)	43,497人 (H29)	44,083人 (H30)	19,573人 (R1) ※1	50,000人 (R7)	39.1%
岐阜アリーナの利用者数	300,894人 (H17)	75,842人 (H29) ※2	297,427人 (H30)	299,465人 (R1)	310,000人 (R7)	96.6%
クリスタルパーク恵那スケート場の利用者数	55,463人 (H17)	69,952人 (H29)	82,282人 (H30)	75,308人 (R1)	70,000人 (R3)	107.5%
川辺漕艇場の利用者数	18,765人 (H23)	22,764人 (H29)	21,049人 (H30)	17,917人 (R1)	20,000人 (R7)	89.5%

※1 人工芝張替工事(R1.5～R1.11)により施設を休止したため

※2 屋根改修工事(H29.11～H30.3)によりフロアを閉鎖したため

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
年度を通し、各施設とも適切な管理運営を実施した。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
施設の弾力的運用

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	指定管理者による施設の管理運営によって、コスト削減や施設の弾力的運用による利用者サービスの向上へつながることから、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	指定管理者による施設の管理運営により、適切な維持管理や利用者サービスの向上を図ることで、利用促進が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	指定管理者制度を導入しており、施設の管理運営は効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設の老朽化に伴う維持修繕が発生する可能性がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 指定管理者制度を導入し、コスト面及び運営面において公の施設の管理運営の効率化が図られている点からも、引き続き事業を継続する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせで実施する理由や期待する効果など	—